

有斐斎弘道館歳末恒例企画

忠臣蔵講談

旭堂南龍



「神崎与五郎 仮名書の詫び証文」

浅野家に伝えられた、堪忍の三幅対。狩野元信の描いた▼韓信股潜の図、徳川家康の詠んだ「堪忍の歌」、そして神崎与五郎の認めた「仮名書の詫び証文」と並び称される赤穂浪士の一人、神崎与五郎の生き様とは!?

旭堂南龍

一九八〇年大阪府生まれ。上方講師。近畿大学文学部卒。二〇〇四年に旭堂南左衛門に弟子入り。高校での教育活動や、二〇一四年フランスパリにてフランス語南京玉簾で講評を得るなど多彩に活躍する。現代最も注目されている若手講師。

令和6年12月7日(土) 午後1時~

料金 3,500円(特別菓子付)

会場 有斐斎弘道館

京都市上京区元土御門町 524-1

予約 075-441-6662

info@kodo-kan.com

QRコードからも予約可能です

